


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、持ち直しつつある」

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある	




（注）4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。






（判断の要点）

個人消費は、スーパーに底堅さがみられる中で、コンビニエンスストア、百貨店、観光等が持ち直しつつあることから、全体としては持ち直しつつある。生産活動は、食料品や窯業・土石が持ち直しつつあるものの、電気機械が足踏みの状況にあることから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある	
生産活動	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
雇用情勢	感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	持ち直しつつある	

設備投資	3年度は前年度を上回る見込み	4年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	4年度は減益見込み	
企業の景況感	現状判断は「下降」超	現状判断は「下降」超	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化等が懸念される中で、原材料価格の上昇や供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直しつつある」

スーパーは、衣料品等に持ち直しの動きがみられるほか、飲食料品が底堅いことから、全体としては底堅いものとなっている。コンビニエンスストアは、ソフトドリンク等に持ち直しの動きがみられることから、全体としては持ち直しつつある。ドラッグストアは、飲食料品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。家電大型専門店は、エアコンや冷蔵庫に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。ホームセンターは、園芸用品等に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。百貨店は、衣料品等に持ち直しの動きがみられることから、全体としては持ち直しつつある。乗用車の新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を下回っている。観光は、行動制限の緩和などから、持ち直しつつある。旅行は、国内旅行は持ち直しつつあり、海外旅行は不調となっている。

(主なヒアリング結果)

- 感染症の影響が和らぐなか、外出機会の増加などによって衣料品の動きがよくなっている。(スーパー)
- 食料品の値上がりの影響はあるものの、引き続き総菜等の動きはよい。(スーパー)
- 外出機会の増加などにより、ソフトドリンクやおにぎり等の動きがよくなっているほか、冷たい麺類の動きもよかった。(コンビニエンスストア)
- 取り扱いを強化している飲食料品の動きはよい。また、外出機会の増加や行楽需要の高まりなどから、日焼け止め等に動きがみられる。(ドラッグストア)
- 電気代の上昇により省エネ性能の高いエアコンや冷蔵庫の需要が高まっている。(家電大型専門店)
- 感染症の流行をきっかけに始めた家庭菜園やガーデニングが定着し、引き続き園芸用品の需要が高い。また、キャンプ用品にも動きがみられる。(ホームセンター)
- 来店客数が回復するなか、外出機会の増加などにより衣料品等の動きがよい。(百貨店)
- 半導体不足や上海のロックダウンなどによる部品調達難の影響で減産を強いられており、登録台数は前年を下回る状況が続いている。(乗用車)
- 行動制限の緩和やイベントの効果もあって、観光客数は増加している。ゴールデンウィーク以降は、県外客も多くみられている。(観光)
- 県民割の効果などにより、旅行者数は増加傾向にある。また、遠方への旅行もみられるようになった。(旅行)

■ 生産活動 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」

食料品は、外食向けで動きがみられることから、持ち直しつつある。窯業・土石は、堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。電気機械は、供給面での制約の影響がみられることから、足踏みの状況にある。こうしたことから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- 飲食店や宿泊施設向けの需要が回復している。(食料品)
- 世界的な半導体不足を背景に、半導体製造装置向けの需要は高く、高操業となっている。(窯業・土石)
- 中国における経済活動の抑制などの影響により、部品の入荷遅れが発生し、生産工程に影響が出ている。(電気機械)


■ 雇用情勢 「持ち直しつつある」

有効求人倍率は横ばいで推移している。新規求人数は前年を上回っている。

- 冷凍食品や総菜などの需要が好調なことから、食料品製造業で求人数が増加している。(労働局)
- スーパーマーケットや食品関係の小売業で求人数が増加している。(労働局)
- 行動制限の緩和によって、旅行客数が増加しており、宿泊業で求人数が増加している。(労働局)
- 来店客数が増加しており、従業員数は不足気味となっている。特に休日は不足感が強い。(飲食店)

- **設備投資** 「4年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
 - 製造業及び非製造業で前年度を上回る見込みとなっており、全体としても前年度を上回る見込みとなっている。
- **企業収益** 「4年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
 - 非製造業で増益見込みとなっているものの、製造業で減益見込みとなっており、全体としても減益見込みとなっている。
- **住宅建設** 「前年を下回っている」
 - 新設住宅着工戸数で見ると、貸家は前年を上回っているものの、持家及び分譲で前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。
- **公共事業** 「前年度を下回っている」
 - 前払金保証請負金額で見ると、国、独立行政法人等、県及び市町村において前年度を下回っており、全体としても前年度を下回っている。

3. 各県の総括判断

	前回 (4年4月判断)	今回 (4年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
香川県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある		個人消費は、持ち直しつつある。生産活動は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直しつつある。
徳島県	新型コロナウイルス感染症の影響などにより、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある		個人消費は、持ち直しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
愛媛県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある		個人消費は、持ち直しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直しつつある。
高知県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある		個人消費は、持ち直しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しつつある。